

流行ニュース：

<エボラ出血熱、南スーダン（更新）>

2004年 5月 31日現在、南スーダン、西赤道州の Yambio郡でエボラ出血熱（EHF）の 25症例（死亡 6例を含む）を Yambioの保健当局が報告した。

サーベランスの強化、接触者の追跡調査と症例管理が続行されている。国際的感染症対策ネットワーク（GOARN）の一部として追加された職員は周辺地域における社会動員活動チームを援助している。

¹参照：No 20, 2004, p205

<黄熱、ブルキナファソ（更新¹）>

2004年 6月 1日現在、Bobo-Dioulasso地区の黄熱の新たな症例はないとブルキナファソの保健省は報告した。

しかしながら、当面、Bobo-Dioulassoの都市部で黄熱の大発生が起こる可能性が高い。雨季が始まったばかりで、都市部には黄熱の媒介動物である熱帯シマカがすでにこの地区に存在している。Bobo-Dioulassoの人口は 740,192人で、人口密度が高く、黄熱に対するワクチン接種率が低い。この地区はまた、西アフリカを交差する人口移動の激しい十字路となっている。

これらの理由で、WHOはできるだけ早く Bobo-Dioulassoにおける集団予防接種キャンペーンを実施することを強く推奨している。

¹参照：No 20, 2004, pp193-194

今週の話題：

<世界の野生型ポリオウイルス封じ込めに対する国の研究所リストの完成、アメリカ合衆国、2003年11月>

1988年に、世界保健総会でポリオ根絶が決議されて以来、WHOの 3地域（アメリカ、ヨーロッパ、西太平洋）では、ポリオ根絶が確認され、ポリオ流行国の数は 1988年の 125ヶ国から 2003年の 6ヶ国（アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン）に減少した。世界のポリオ根絶を期待して、第 52回世界保健総会ですべての加盟国が「野生型ポリオウイルスを最大限に研究室の中での封じ込めを行う手順を始める」ことを推奨する決議を通過させた。

2003年 12月 31日現在、214の国と地域のうち 194ヶ所が研究室での封じ込め活動のための専門調査団を正式に任命した。その内、157は研究所の調査を行っており、81は調査を終え、感染力のある、またはその可能性がある野生型ポリオウイルスを含む物質を保有していることが分った研究所の国のリストを取りまとめた。この報告所では、大規模に進んだ実験設備を持つことでポリオウイルスの封じ込めに最も取り組んでいる国の一つであるアメリカ合衆国で得られた調査結果が記述されている。2002年 10月、アメリカ合衆国健康福祉省（USDHS）は手紙と報告書を 32,429の生物医学機関・研究所に送付した。その手紙の目的は、今にも達成できそうな世界的なポリオ根絶を研究所で油断せず行い、不要な野生型ポリオウイルス物質の処分を推奨し、そのような物質を保存する機関・研究所の国によるリストを作成する事である。国によるリスト作成の目的は、機関・研究所の現在のリストを整備し、適切な方法でポリオウイルス封じ込めを実装する必要性と撲滅を進める情報を知らせ続けるためである。

調査では、機関・研究所を、(a)野生型ポリオウイルス物質を入手している施設（教育機関、政府、産業、州や地域の公衆衛生機関）（b）入手していると思われる施設（微生物の複雑な検査が公認されている臨床の研究所）（c）入手していない施設（微生物の複雑な検査が非公認の臨床の研究所）の 3つに分類した。入手していない施設を分類に含めた目的は、複雑な検査が非公認の小さな臨床の研究所（個人医院など）での野生型ポリオウイルス保存の危険度を調査するためである。機関・研究所に検査記録や保管場所の調査を依頼し、研究所の数、物質の種類と量、野生型ポリオウイルス物質を保管する研究所の名前についてファックスやメールなど電子的に提供するように依頼した。指定された期日に回答できない機関・研究所にはのちほど手紙および電話にて追跡調査を行うことを知らせた。

3つのカテゴリーに分類した計 105,356の研究室から回答があった。野生型ポリオウイルス物質を入手している、入手していると思われると分類した 5,585の機関・研究所すべて（100%）から回答があった。入手していないと分類した機関・研究所の 90%（26,844施設中 24,206施設）から回答があった（表 1）。24,206の回答があった施設は、どこも野生型ポリオウイルス物質を入手していなかったため、回答がなかった 2,638の施設（多くは営業停止中）への追跡調査は実施しなかった。

調査とリストの質と完全性は、1993-2003年の科学的な文献の調査によって確認された。この調査は、いかなる原因にも起因したポリオウイルス、ポリオ流行国の腸疾患、あるいはポリオウイルスに関連するウイルス（ピコルナウイルス、ライノウイルス、ロタウイルス）について言及されていたアメリカ合衆国の研究所からの刊行物が含まれていた。この調査により、2002年の調査でのデータベースに含まれていない 6つの機関・研究所が確認された。追跡調査で、6つの施設のどれも野生ポリオウイルスを保存していなかった。

アメリカ合衆国の国家調査によるポリオウイルス封じ込めの報告は、国立ワクチン諮問委員会(NVAC)のポリオウイルス研究班によって支持された。この報告は、汎米保健機関と研究所における野生型ポリオウイルス物質封じ込めアメリカ地区委員会に転送するために、アメリカ合衆国健康福祉省に提出されている。2003年11月現在、アメリカ合衆国のリストは122の施設と野生型ポリオウイルス物質を保有する180の研究所から成っていた。180の研究所のうち87が感染物質、56が感染の可能性のある物質、37が両方のタイプの物質を所有しているとリストに載せられた。(表2)

* 提出元:

アメリカ合衆国の健康福祉省の国立ワクチン計画局、感染症及び予防接種部門、アメリカ合衆国子どもの生存と発達のための特別研究班

* 編集ノート:

世界のポリオ根絶の目標は、2005年末までに全ての国で野生型ポリオウイルスの伝播を阻止することである。2003年、6ヶ国でポリオの流行があるが、これまでで最も少ない症例数である。2003年3ヶ国から785例中683例(87%)のポリオ症例が報告されている(ナイジェリア(355例;45%)、インド(225例;29%)、パキスタン(103例;13%))。主な予防接種キャンペーンは2004年にこの3ヶ国と近隣国によって進行中または計画されている。最低、連続3年間は野生型ポリオウイルスの流行がみられず、すべての野生型ポリオウイルス物質が研究室に適切に封じ込められたとすべてのWHO地域が文章で証明したとき、野生型ポリオウイルス伝播が世界的に消滅したとポリオ根絶認証委員会が宣言するだろう。

野生型ポリオウイルスを保存する機関・研究所の国家リストの完成は第1段階の対策である。アメリカ合衆国を含め、アメリカ、ヨーロッパ、西太平洋地域のポリオのない81ヶ国でリストが完了した。残りのポリオのない3地域と局所的流行のある地域にある多くのポリオのない国は、2004年の間にリストが完了することが期待される。

第2段階の封じ込めは、世界中のどこにも野生型ポリオウイルスの分離がなく1年が経過したときに始まる。その時、アメリカ合衆国健康福祉省では、ポリオウイルス伝播が絶たれたことを生物医学研究所に通知し、リスト上の機関・研究所に対し、ポリオウイルスやその可能性のある物質を適切に処分する方法を指示する。そして、アメリカ合衆国健康福祉省は、研究所の封じ込めを示した書類をポリオ根絶認証委員会に提出するだろう。

アメリカ合衆国の国家リスト完成の成功は、生物安全性に関わる集団、専門組織、行政部門の優れた支援により、また国の機関と生物医学研究所の協力が十分に行われた事により可能となった。継続的な支援と協力により、現在残っているリスト作成が保証される。機関・研究所に野生型ポリオウイルス物質の保存状態に何か変化があった場合、疾病管理予防センターのポリオウイルスの研究室封じ込め部門に知らせるべきである。

表1: 国の調査に回答した施設、アメリカ合衆国

分類	データベース上の施設	回答の合った施設 ^a	%
野生型ポリオウイルス物質を入手している施設			
教育機関	437	437	100
政府	13 ^b	13	100
産業	668	668	100
州および地方行政	98	98	100
小計	1216	1216	100
入手していると思われる施設			
全 CLIA- 細菌の複雑な検査を実施する事を認証された施設	4369	4369	100
入手していない施設	26 844	24 206	90
全 CLIA- 細菌の複雑でない検査を実施する事を認証された施設			
合計	32 429	29 791	92

^a 計 105 356 の研究所から成る

^b 省

^c The Clinical Laboratory Improvement Act (CLIA) は、1988年に全ての研究所が臨床試験の正確性、信頼性、適時性を確実にする品質基準を構築している。

表2: 野生型ポリオウイルス物質を保有する機関/研究所、アメリカ合衆国 (WER 参照)

< 急性弛緩性麻痺 (AFP) サーベイランスの実施とポリオの発生率、2003年-2004年 >
(WER を参照してください)
(宮本陽子、村田憲子、法橋尚宏)